

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

指定演題

※ オンデマンド配信有り

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
特別講演1		※	SL-1	The History of Autoimmune Neurology	Vanda A. Lennon	Mayo Clinic Rochester MN, USA.
特別講演2		※	SL-2	細胞外小胞エクソソームによる神経免疫の制御機構	華山 力成	金沢大学医学系免疫学/WPIナノ生命科学研究所
臨床教育講演1		※	EL-1	ギラン・バレー症候群の治療の動向	三澤 園子	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
臨床教育講演2		※	EL-2	重症筋無力症(MG)	吉川 弘明	金沢大学保健管理センター
臨床教育講演3		※	EL-3	視神経脊髄炎スペクトラム障害(NMOSD)	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部 老年神経内科学
臨床教育講演4		※	EL-4	IgG4関連疾患	川野 充弘	金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科
[学会企画]教育委員会セミナー1		※	教セ1	免疫介在性疾患の病因追究手段としてのHLAその他の遺伝子解析手法の原理と臨床的意義づけ	磯部 紀子	九州大学大学院医学研究院 神経内科学
[学会企画]教育委員会セミナー2		※	教セ2	現代における筋生検の適応と炎症性筋疾患診断(病理像と自己抗体)のポイント	清水 潤	東京工科大学 医療保健学部
シンポジウム1	未来(30年後)の神経免疫疾患の治療	※	SY1-1	慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの治療の未来	緒方 英紀	九州大学病院 脳神経内科
		※	SY1-2	多発性硬化症の治療の未来	中原 仁	慶應義塾大学医学部 神経内科
		※	SY1-3	自己免疫性脳炎の治療の未来	飯塚 高浩	北里大学医学部 脳神経内科学
		※	SY1-4	重症筋無力症の治療の未来	岩佐 和夫	石川県立看護大学看護学部 健康科学講座/ 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(脳神経内科学)
シンポジウム2	感染によって誘発される神経免疫病態	無	SY2-1	急性弛緩性脊髄炎とエンテロウイルス:動物モデルから得られた知見	永田 典代	国立感染症研究所 感染病理部
		※	SY2-2	タイラーウイルス感染によるTDP-43 proteinopathyと神経障害・脱髄への関与	眞崎 勝久	九州大学病院 脳神経内科
		※	SY2-3	感染から自己抗体産生に至るメカニズム Mechanisms of autoantibody production after infection	Nicholas Sanderson	Clinical Neuroimmunology, Department of Biomedicine, University Hospital Basel, Switzerland
		※	SY2-4	タイラーウイルスによる急性灰白脳脊髄炎・多発性硬化症動物モデル:分子相同性から腸内細菌叢まで	角田 郁生	近畿大学医学部 微生物学講座
シンポジウム3	神経免疫と認知症・精神疾患	※	SY3-1	神経免疫と精神・神経疾患	竹内 英之	横浜市立大学医学部 神経内科学・脳卒中医学
		※	SY3-2	アルツハイマー病の免疫療法の現況	岩坪 威	東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野
		無	SY3-3	脳アミロイドアンギオパチーにおける炎症と認知症	坂井 健二	金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(脳神経内科学)
		※	SY3-4	精神疾患における神経炎症	門司 晃	佐賀大学医学部 精神医学講座
シンポジウム4	ミクログリア:基礎・臨床研究の最先端	※	SY4-1	ミクログリア細胞の新規生理機能とその病態への寄与	和氣 弘明	名古屋大学大学院医学系研究科 機能形態学講座分子細胞学
		※	SY4-2	ミクログリアと神経変性疾患	山中 宏二	名古屋大学 環境医学研究所
		※	SY4-3	一次性ミクログリア病:病態研究の進歩と新規治療法	池内 健	新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター
ホットトピックセッション	日本神経免疫学会と日本神経感染症学会との合同企画 薬剤関連PML:MS疾患修飾薬関連PMLを中心に	※	HS-1	薬剤関連PMLの現状:PMLサーベイランスから	三浦 義治	がん・感染症センター都立駒込病院 脳神経内科
		※	HS-2	PMLの病理と発病機構	鈴木 忠樹	国立感染症研究所感染病理部
		※	HS-3	ナタリズマブ関連PML	近藤 誉之	関西医科大学総合医療センター脳神経内科
		※	HS-4	フィンゴリド関連PML	中原 仁	慶應義塾大学医学部 神経内科
		※	HS-5	フマル酸ジメチル関連PML	横山 和正	順天堂大学医学部 脳神経内科
2019年研究創世賞		※	A-1	多発性硬化症の神経障害、脳萎縮を予測するバイオマーカーとしてのケモカインの有用性	宮崎 雄生	国立病院機構北海道医療センター 脳神経内科
		※	A-2	NINJAの本態解明、治療法開発を目指した腸内細菌叢マルチオミクス解析	竹脇 大貴	国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部/京都府立医科大学 神経内科

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

共催セミナー

※ オンデマンド配信有り

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
ランチョンセミナー1		※	LS1	CIDPの多様性と治療の新たな展開 ~どのように治療を選択するか~	桑原 基	近畿大学医学部 脳神経内科
ランチョンセミナー2		無	LS2-1	視神経脊髄炎の免疫病態とアンメットニーズ	山村 隆	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所
		無	LS2-2	サトラリズマブの有効性・安全性	荒木 学	河北総合病院 神経内科
ランチョンセミナー3		無	LS3	多発性硬化症診療における早期診断の課題と対策~グラチラマー酢酸塩への期待~	越智 博文	愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座
ランチョンセミナー4		無	LS4	重症筋無力症の病態と最新治療	鶴沢 顕之	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
ランチョンセミナー5		無	LS5	多発性硬化症におけるフマル酸ジメチルの位置づけ	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部 老年神経内科学
ランチョンセミナー6		無	LS6-1	最新のMG治療戦略 ~MG-QOL15rの意義~	槍澤 公明	総合花巻病院 神経内科
		無	LS6-2	COVID-19パンデミックにおけるMG診療	村井 弘之	国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学
ランチョンセミナー7		無	LS7	進行型MSIにおける新たな治療戦略	新野 正明	国立病院機構北海道医療センター
ランチョンセミナー8		※	LS8	抗SRP抗体と抗HMGCRC抗体	鈴木 重明	慶應義塾大学医学部 神経内科
イブニングセミナー1	NMOSDにおける抗補体治療の可能性	無	ES1-1	NMOSDにおける補体の役割	三須 建郎	東北大学病院 脳神経内科
		無	ES1-2	NMOSD治療における抗補体薬の位置づけ	近藤 誉之	関西医科大学総合医療センター 脳神経内科
イブニングセミナー2		無	ES2	Current Treatment Strategy with Natalizumab	横山 和正	順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科
イブニングセミナー3		無	ES3	明日から役立つCIDPの診断・評価・治療のコツ	能登 祐一	京都府立医科大学 神経内科
イブニングセミナー4		無	ES4-1	視神経脊髄炎における視神経炎	岡本 智子	国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科
		無	ES4-2	多発性硬化症の視神経炎:パール&ビットフォール	清水 優子	東京女子医科大学 脳神経内科
モーニングセミナー1		無	MS1	Brain healthを意識した多発性硬化症の治療戦略	横手 裕明	新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科 / 東京医科歯科大学 脳神経病態学
モーニングセミナー2		無	MS2	多発性硬化症の病態におけるリンパ球の関与	三宅 幸子	順天堂大学大学院医学研究科 免疫学講座

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

ワークショップ

※ オンデマンド配信有り

セッション名		オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
ワークショップ1	基礎研究 1	※	WS1-01	プロドラッグ型クルクミン CMG による実験的自己免疫性脳脊髄炎の抑制と小腸細菌叢変化	佐藤 文孝	近畿大学 医学部 微生物学
		※	WS1-02	Alterations of the gut ecological and functional microenvironment in different stages of MS	竹脇 大貴	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 免疫研究部
		※	WS1-03	多発性硬化症に対するケモジェネティクスを応用した病因解析研究	中里 祐毅	宮崎大学 医学部 脳神経内科
		※	WS1-04	多発性硬化症治療に向けた自己抗原修飾リポソーム製剤の開発	清水 広介	浜松医科大学 光先端医学教育研究センター フォトニクス医学研究部 分子病態イメージング研究室
		※	WS1-05	新規NMOSD疼痛モデル動物樹立とATPシグナル経路解明	石倉 照之	大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学
ワークショップ2	MOG抗体関連疾患	※	WS2-01	抗MOG抗体関連疾患患者における臨床的特徴の検討	崔 聡	京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科
		※	WS2-02	腫瘍様脱髄病変をきたした抗MOG抗体陽性症例の放射線画像的特徴と治療反応性の検討	森 崇博	総合病院 国保旭中央病院
		※	WS2-03	抗MOG抗体及び抗AQP4抗体陽性疾患の頭部MRI画像における病変分布の比較検討	松本 勇貴	東北大学医学部 脳神経内科
		無	WS2-04	MOG抗体関連疾患での血液脳関門破壊メカニズムの解明	清水 文崇	山口大学大学院医学系研究科 臨床神経学
ワークショップ3	多発性硬化症 1	※	WS3-01	多発性硬化症治療におけるDMD反応性と免疫セマホリンSema4Aの関連の検証	甲田 亨	大阪大学 神経内科
		※	WS3-02	ヘルパーT細胞の共抑制分子発現はMSとNMOの多様性を反映している	千原 典夫	神戸大学 大学院医学研究科 脳神経内科学
		※	WS3-03	多発性硬化症における脊髄病変と変形性脊椎症の関連についての検討	古東 秀介	北播磨総合医療センター 脳神経内科
		無	WS3-04	多発性硬化症における大脳萎縮の解析	若杉 尚宏	新潟大学 脳研究所 脳神経内科
		※	WS3-05	多発性硬化症における治療戦略は脳皮質萎縮と有意に関連する	横手 裕明	新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科
		※	WS3-06	多発性硬化症に対する疾患修飾薬と臨床的無再発期間における脳萎縮進行	柘田 大生	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
ワークショップ4	筋萎縮性側索硬化症・その他	※	WS4-01	シェーグレン症候群を合併した封入体筋炎における免疫治療有効性因子の臨床的探索	向野 晃弘	熊本大学病院 分子神経治療学寄附講座
		※	WS4-02	血管炎における好中球の行動様式に関する超微形態学的検討	小池 春樹	名古屋大学 神経内科
		※	WS4-03	Pannexin1阻害薬プロベネドはLATY136F変異マウスの硬膜炎症および繊維化を抑制する	眞崎 勝久	九州大学大学院医学研究院神経内科学
		※	WS4-04	カルシウム結合蛋白によるグリア炎症惹起性の検証-筋萎縮性側索硬化症患者の脳脊髄液所見との比較-	林 信太郎	九州大学大学院医学研究院神経内科学
		※	WS4-05	ALSモデルマウスの病勢進行に伴ったCCR2の中樞神経における細胞局在変化	古宮 裕泰	横浜市立大学 大学院医学研究科 神経内科学 脳卒中医学
		※	WS4-06	新規小脳型多系統萎縮症モデルによる脱髄・神経細胞障害機序とグリア制御による新規治療法開発の試み	西村 由宇慈	九州大学神経内科
ワークショップ5	視神経脊髄炎関連疾患	※	WS5-01	視神経脊髄炎関連疾患 剖検2例における臨床・病理学的検討	岡本 智子	国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科
		※	WS5-02	頻回の再発と難治性を呈した両側視神経炎の一例	中西 恵美	金沢医科大学 脳神経内科
		※	WS5-03	視神経脊髄炎と類縁疾患の鑑別にB細胞の表現型解析が有用である	赤谷 律	神戸大学大学院 医学研究科 脳神経内科学
		※	WS5-04	診療データベースを用いた視神経脊髄炎における疾病負荷研究	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部老年神経内科学
		※	WS5-05	視神経脊髄炎関連疾患の安定期における血清O4値は年間再発率と負の相関を示す傾向にある	王子 聡	埼玉医科大学 総合医療センター 神経内科
		無	WS5-06	AQP4抗体陽性視神経脊髄炎において末梢血B細胞上のC5a受容体の発現が上昇する	錦織 隆成	京都大学大学院医学研究科 臨床神経学
		※	WS5-07	T peripheral helper細胞とswitched memory B細胞のAQP4抗体陽性NMOSDにおける働き	星野 泰延	順天堂大学医学部附属免疫学講座
		※	WS5-08	MSおよびNMOSD患者における髄液dsDNAの検討	山本 真守	富山大学 脳神経内科
		※	WS5-09	視神経脊髄炎及び多発性硬化症患者のアストロサイト代謝と認知機能との関連～¹¹C-酢酸PETを用いた検討～	奥野 龍禎	大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学
		無	WS5-10	重症筋無力症合併視神経脊髄炎関連疾患の解析	佐治 越爾	新潟大学 脳研究所 神経内科

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

ワークショップ

※ オンデマンド配信有り

セッション名		オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
ワークショップ6	末梢神経疾患	無	WS6-01	抗Plexin D1抗体陽性小径線維ニューロパチーの発見と受動免疫による疼痛の再現	藤井 敬之	九州大学大学院 医学研究院 神経内科学
		※	WS6-02	nAChR alpha3ペプチド感作による新たな自己免疫性自律神経節障害モデルの樹立	山川 誠	熊本大学 脳神経内科学
		※	WS6-03	シェーグレン症候群(SS)に伴う末梢神経障害の長期予後と運動神経障害を伴うサブタイプの特徴	玉木 香菜	東京医科歯科大学 脳神経病態学分野
		※	WS6-04	CIDPIにおける血清ニューロフィラメント軽鎖濃度と臨床病理学およびNF155自己抗体との関連	深見 祐樹	名古屋大学 神経内科
		※	WS6-05	IgG4抗contactin-1抗体陽性慢性炎症性脱髄性神経炎5例の臨床的特徴	緒方 英紀	九州大学大学院医学研究院 神経内科学
		※	WS6-06	脱髄性ニューロパチーの臨床病型と自己抗体に基づいた臨床的プロファイルの比較	水地 智基	千葉大学大学院 医学研究院 脳神経内科学
		※	WS6-07	経過中にキャスルマン病と診断した多クローン性高γグロブリン血症を伴う多巣性運動ニューロパチーの1例	城間 京香	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 脳神経内科学分野
		※	WS6-08	免疫グロブリン性アミロイドーシスにおける髄鞘病変の超微形態学的検討	小池 春樹	名古屋大学 神経内科
ワークショップ7	重症筋無力症	無	WS7-01	重症筋無力症患者の胸腺ではプラズマブラストが増加している	山本 遥平	徳島大学病院 脳神経内科
		※	WS7-02	Double Seronegative MG における濾胞性T細胞の解析	芦田 真士	京都府立医科大学 神経内科学
		※	WS7-03	抗MuSK抗体陽性重症筋無力症の臨床的特徴および予後についての検討	安田 真人	千葉大学 大学院医学研究院 脳神経内科学
		※	WS7-04	重症筋無力症の初期治療における症状改善度は可溶性 PD-L1 濃度と関連する	岩佐 和夫	金沢大学 大学院 脳老化・神経病態学(脳神経内科)
		※	WS7-05	喫煙と重症筋無力症の研究	宮崎 雄生	国立病院機構 北海道医療センター 臨床研究部
ワークショップ8	基礎研究 2	※	WS8-01	組織抗原特異的制御性T細胞の安定性を規定する自己抗原ペプチドによる自己免疫と腫瘍免疫の統制	林 幼偉	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部
		無	WS8-02	Eomes+ Th cells: a key target for SPMS diagnosis & treatment	Raveney Ben	国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部
		※	WS8-03	Brain gray matter astroglia-specific connexin 43 ablation remotely attenuates spinal inflammation	山崎 亮	九州大学 医学部 神経内科学
		※	WS8-04	神経変性病態に伴う慢性炎症環境の分子機序の解明	大木 伸司	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部
		※	WS8-05	神経変性病態における免疫依存性神経細胞障害機序の解明	大木 伸司	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部
ワークショップ9	多発性硬化症 2	※	WS9-01	第3相PREVENT試験でのエクリズマブのPK/PDの検討	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部老年神経内科学
		※	WS9-02	抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎(NMOSD)に対するエクリズマブ単剤投与の長期安全性と有効性	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部老年神経内科学
		※	WS9-03	視神経脊髄炎(NMOSD)に対するエクリズマブの長期投与の安全性及び有効性	藤原 一男	福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座
		※	WS9-04	抗AQP4抗体陽性NMOSD患者を対象とした第3相PREVENT試験の地域別の解析	藤原 一男	福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座
		※	WS9-05	フマル酸ジメチル導入による多発性硬化症再発抑制効果とその関連因子	松下 拓也	九州大学 大学院 医学研究院 神経内科学
		※	WS9-06	シボニモドは二次性進行型多発性硬化症(SPMS)患者の車いす移行を遅らせる:国際共同第III相EXPAND試験結果	清水 優子	東京女子医科大学 脳神経内科
		※	WS9-07	日本とロシアの再発型多発性硬化症患者を対象としたCD20抗体(オファツムマブ) APOLITOS試験	齋田 孝彦	関西多発性硬化症センター
		※	WS9-08	第5回全国調査が示す多発性硬化症・視神経脊髄炎総患者数の増加	磯部 紀子	九州大学大学院医学研究院神経内科学

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

ワークショップ

※ オンデマンド配信有り

セッション名		オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
ワークショップ10	脳炎・脳症・脊髄炎	※	WS10-01	自己免疫機序が疑われたてんかん重積状態における抗神経細胞表面抗体と頭部MRI所見	須賀 裕樹	北里大学 医学部 脳神経内科学
		※	WS10-02	自己免疫性脳炎が疑われる抗神経細胞表面抗体陰性例の臨床像と免疫学的特徴：後方視的検討	岩瀬 諒子	北里大学 医学部 脳神経内科学
		※	WS10-03	急性散在性脳脊髄炎治癒後に左視神経炎を発症した抗MOG抗体陰性の高齢者の1例	碓井 雄大	金沢大学 大学院 脳老化・神経病態学(脳神経内科)
		無	WS10-04	進行性腎細胞癌へのニボルマブ・イピリムマブ併用療法後に生じた自己免疫性脳炎の1例	小林 彩夏	新潟大学 脳研究所 神経内科
		※	WS10-05	特発性小脳失調症における自己免疫病態の解明：抗小脳抗体の検索	竹腰 顕	岐阜大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学分野
		※	WS10-06	筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)患者末梢血のB細胞受容体レパトア解析の有用性	佐藤 和貴郎	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部
		※	WS10-07	視神経脊髄炎様の症状を呈したHTLV-1関連脊髄症の79歳女性例	山鹿 哲郎	埼玉医科大学総合医療センター 神経内科
		※	WS10-08	HAM診療ガイドラインの活用実態および内容の評価に関する全国調査	佐藤 知雄	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター
		※	WS10-09	生体腎移植から10年後に発症した進行性多巣性白質脳症の1例	石鎚 啓	慶應義塾大学 医学部 神経内科
		無	WS10-10	ANCA関連脊髄肥厚性硬膜炎の臨床免疫病理学的検討	中島 章博	新潟大学脳研究所・歯学総合病院 脳神経内科学分野

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

eポスター

※ オンデマンド配信有り

セッション名	オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
1. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 1(基礎研究)	無	P-1	AQP4ペプチド免疫による視神経脊髄炎モデルマウスの作出	芹澤 賢一	中外製薬株式会社 プロダクトリサーチ部
	※	P-2	実験的自己免疫性脳脊髄炎に対するサーカディアン・リズムの影響	福本 雄太	近畿大学病院 脳神経内科
	無	P-3	NEDA-3を長期維持しているMS患者における免疫学的特徴の検討	蕨手 美彩子	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 免疫研究部/ 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学
	※	P-4	シボニモド:作用機序からフィンゴリドとの違いまで	大川 陽久	ノバルティスファーマ株式会社
2. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 2(症候・病態)	※	P-5	Serum Sema4A levels correlate with distinct clinical phenotype in patients with NMOsd	別府 祥平	大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学
	※	P-6	発症年齢による視神経脊髄炎関連疾患の臨床的差異	中原 圭一	熊本大学医学部 脳神経内科
	※	P-7	多発性硬化症における当院での脳萎縮と高次脳機能障害の検討	櫻井 謙三	聖マリアンナ医科大学 内科学脳神経内科
	※	P-8	抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎関連疾患における再発率と再発関連因子	金子淳太郎	北里大学医学部 脳神経内科学
3. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 3(検査)	※	P-9	日本人多発性硬化症患者における高次脳機能(BICAMS)とMRIパラメータとの関連	福元 尚子	九州大学大学院医学研究院 神経内科学
	無	P-10	多発性硬化症とその関連疾患における髄液中のsingle clonal bandの臨床的意義についての検討	川崎 怜子	東京大学医学部附属病院 脳神経内科
	無	P-11	中枢性脱髄疾患における末梢血単核球T細胞プロファイル	森 雅裕	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内学
	※	P-12	二次性進行型多発性硬化症における嗅覚同定能の特徴と臨床的意義の検討	岡田 和将	産業医科大学医学部 神経内科学
	※	P-13	q-Space Myelin Map法を用いたナタリズマブ投与下多発性硬化症の髄鞘動態解析	関口 耕史	慶應義塾大学医学部 神経内科
	※	P-14	多発性硬化症患者の脳高次機能障害と脳血流-SPECTの検討	武久 康	岡山赤十字病院 脳神経内科
4. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 4(治療①)	無	P-15	本邦発症フィンゴリド関連PML症例報告後の治療選択の推移	高橋 和也	独立行政法人国立病院機構医王病院 北陸脳神経筋疾患センター
	※	P-16	フィンゴリドを長期使用した日本人多発性硬化症患者で残存する疾患活動性に関連するリンパ球分画の同定	渡邊 充	九州大学大学院医学研究院 神経内科学
	※	P-17	ナタリズマブ使用成績調査の5年目中間解析:安全性および多発性硬化症の罹病期間別の有効性	横山 和正	順天堂大学医学部 神経学
	※	P-18	ナタリズマブ早期治療による多発性硬化症の長期的な認知および身体的機能の検討:MS PATHSより	Ontaneda Daniel	Cleveland Clinic
	※	P-19	長期ナタリズマブ治療による非活動性二次進行型多発性硬化症への移行:TYSABRI Observational Programより	Kappos Ludwig	University Hospital and University of Basel
	取り下げ	P-20	ナタリズマブの標準投与と間隔延長投与によるPMLリスク低減の比較検討:TOUCH データベース解析より	Zhovtis Ryerson Lana	New York University
	※	P-21	フマル酸ジメチル投与患者におけるリンパ球数の変化と有効性および血清ニューロフィラメントの関連	EE Longbrake	Yale University
5. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 5(治療②)	※	P-22	フマル酸ジメチル投与患者における妊娠転帰:海外国際レジストリー研究の中間報告	Kerstin Hellwig	University of Bochum
	※	P-23	フマル酸ジメチル10年投与における長期安全性と有効性:海外第III相臨床試験の継続試験における中間報告	R Gold	Ruhr University Bochum
	※	P-24	DMD未治療および早期多発性硬化症患者におけるフマル酸ジメチルの安全性と有効性-使用成績調査中間報告	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部 老年神経内科学
	※	P-25	高齢者・小児・妊娠患者におけるフマル酸ジメチルの安全性-使用成績調査中間報告	大橋 高志	東京女子医科大学附属八千代医療センター 脳神経内科
	※	P-26	シボニモド投与患者の髄鞘化改善のエビデンス:第3相EXPAND試験のMRIサブスタディの結果	大川 陽久	ノバルティスファーマ株式会社
6. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 6(治療)	※	P-27	二次性進行型多発性硬化症患者に対するシボニモドの長期有効性(最長5年):EXPAND試験の延長パートの解析	上田 兼吾	ノバルティスファーマ株式会社
	※	P-28	Characterisation of the PK and PD of satralizumab to support Q4W dosing in patients with NMOSD	伊藤 創	中外製薬株式会社
	※	P-29	Adolescents with NMOSD treated with the adult satralizumab dosing regimen	伊藤 創	中外製薬株式会社
	※	P-30	オフアツムマブは再発型MS患者において再発に依らない身体障害進行を抑制する	大高 広道	ノバルティスファーマ株式会社
	※	P-31	再発型MS患者を対象としたオフアツムマブとテリフルノミドの比較検討:ASCLEPIOS I, II試験	丸山サラディーニ 恵子	ノバルティスファーマ株式会社

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

eポスター

※ オンデマンド配信有り

セッション名	オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
7. 多発性硬化症・視神経脊髄炎関連疾患 7(ケーススタディ)	※	P-32	両側視神経炎で発症し、再発性の大脳皮質病変を認めた抗 flotillin-1/2抗体陽性脳炎の一例	石原 資	国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科
	※	P-33	慢性経過の可逆性びまん性脳白質病変を呈した視神経脊髄炎スペクトラムの58歳女性例	富沢 雄二	順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科
8. MOG抗体関連疾患 1	※	P-34	中枢病変を伴わない末梢神経障害における抗MOG抗体:連続37例での検討	金子 仁彦	東北大学 脳神経内科/石巻赤十字病院 脳神経内科
	※	P-35	抗MOG抗体関連疾患のオリゴクローナルバンド陽性群と陰性群の臨床像	青木 玲二	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
	※	P-36	臨床的に多発性硬化症と診断される抗MOG抗体陽性患者の検討	生田目 知尋	東北大学医学系研究科 神経内科学分野
	※	P-37	抗MOG抗体関連疾患表現形の多様性—視神経炎型、馬尾症候群型、大脳脳幹錐体路病変型、白質脳症型—	尾上 祐行	獨協医科大学玉医療センター 脳神経内科
	※	P-38	当院における抗MOG抗体関連疾患の10症例の診断経緯及び臨床的特徴	小口 絢子	東京大学医学部附属病院 脳神経内科
	※	P-39	抗MOG抗体陽性患者の診断と経過についての検討	越智 一秀	安佐市民病院 脳神経内科/広島大学病院 脳神経内科
9. MOG抗体関連疾患 2(ケーススタディ①)	※	P-40	限局した最後野病変による持続性吃逆を呈した抗MOG抗体関連疾患の男児例	柏井 洋文	東京都立神経病院 神経小児科
	※	P-41	維持療法として免疫グロブリン静注療法を施行したMONEMの小児症例	下濱 祥	東京都済生会中央病院 脳神経内科/慶應義塾大学医学部 神経内科
	※	P-42	画像所見に先行して髄膜炎所見や精神症状を呈した抗MOG抗体陽性神経疾患の一例	景山 卓	東海記念病院 脳神経内科/天理よろづ相談所病院 脳神経内科
	※	P-43	髄液中抗体測定が診断に有用であった抗MOG抗体関連疾患の52歳女性例	有馬 佑策	聖マリアナ医科大学 内科学脳神経内科
	※	P-44	単純血漿交換療法の追加治療が有効だった抗MOG抗体陽性 Tumefactive demyelinating lesionの1例	深沢 良輔	済生会滋賀県病院 脳神経内科
10. MOG抗体関連疾患 3(ケーススタディ②)	※	P-45	再発性の経過を示した抗MOG抗体関連疾患の3例	小谷 紗稀	京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学
	※	P-46	10年間全身性エリテマトーデスとして加療され、リツキシマブで寛解が維持された抗MOG抗体陽性例	森島 亮	東京都立神経病院 脳神経内科
	※	P-47	ステロイド抵抗性の抗MOG抗体・抗NMDAR抗体陽性散在性脳炎に免疫グロブリン静注療法が奏功した一例	穴場 比奈野	国立病院機構仙台医療センター 脳神経内科
	※	P-48	慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーの経過中に視神経炎を発症した43歳女性の1例	常山 篤子	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
11. 脳炎・脳症 1	無	P-49	HPVワクチン関連疾患の臨床経過とワクチン接種後血液サイトカイン・自己抗体の検討	松浦 英治	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経内科・老年病学
	※	P-50	抗NMDA受容体脳炎の予後規定因子	坂口 裕香	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経内科学
	無	P-51	自己免疫性脳炎の早期診断・治療に対するtissue-based assayを用いた迅速抗体診断の有用性の検討	原 誠	日本大学医学部内科学系 神経内科学分野
	※	P-52	自己免疫性脳炎関連自己抗体の網羅的検出系作成と各種抗体検出頻度	田中 恵子	新潟大学脳研究所 モデル動物開発分野/ 福島県立医科大学 多発性硬化症治療学講座
	※	P-53	Kelch-like protein 11抗体陽性の傍腫瘍性神経症候群における腫瘍内の抗原発現	石川 英洋	三重大学 脳神経内科
12. 脳炎・脳症 2(ケーススタディ)	無	P-54	免疫治療が有効であった原因不明の新規発症難治性てんかん重積状態の一例	深田 寛人	国立病院機構仙台医療センター
	※	P-55	抗AMPA受容体抗体による傍腫瘍性神経症候群の76歳男性例	福本 竜也	徳島大学病院 脳神経内科
	※	P-56	当院における抗NMDA受容体抗体脳炎の再発症例の検討	高松 孝太郎	熊本大学医学部 脳神経内科
13. 末梢神経障害(急性) 1	※	P-57	免疫チェックポイント阻害薬関連ニューロパチーの解析	桑原 基	近畿大学医学部 脳神経内科
	※	P-58	軽症のカンピロバクター腸炎後ギラン・バレー症候群:臨床像と病態	古賀 道明	山口大学大学院医学系研究科 臨床神経学
	※	P-59	Seronegative-Guillain-Barre syndromeにおけるCa²⁺/SUP>依存性抗体の検討	内堀 歩	杏林大学医学部 脳神経内科
	※	P-60	Cholesterol付加によるIgG抗GM1抗体活性増強作用:ギラン・バレー症候群と関連疾患の検討	本郷 悠	防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科

※ 演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

eポスター

※ オンデマンド配信有り

セッション名	オンデマンド 配信の有無	演題 番号	演題名	演者名	所属
14. 末梢神経障害(急性) 2(ケーススタディ)	※	P-61	ニボルマブ、イピリムマブの免疫関連有害事象によるギラン・バレー症候群の一例	荒武 由利子	倉敷中央病院 脳神経内科
	※	P-62	遠位型特発性腕神経叢炎のMR neurography所見	長尾 龍之介	藤田医科大学病院 脳神経内科
	無	P-63	E型肝炎に関連して発症しGQ1b IgG抗体陽性の神経痛性筋萎縮症様の症状を呈した一例	川邊 清一	東邦大学大森病院 脳神経内科
15. 末梢神経障害(慢性)	※	P-64	慢性炎症性脱髄性多発性根神経炎と筋萎縮性側索硬化症のMRニューログラフィ所見	石川 等真	藤田医科大学病院 脳神経内科
	※	P-65	CIDP患者における血清ニューロフィラメントLの検討	林 智宏	富山大学 脳神経内科
	※	P-66	経静脈的免疫グロブリン療法 (IVIg)とD-Dimerの変動、血栓症発症リスクの検討	野田 浩太郎	東京医科歯科大学医学部附属病院 神経内科
	※	P-67	抗MAG抗体関連ニューロパチー: 治療適応についての検討	中村 圭吾	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
16. 重症筋無力症 1(基礎研究)	無	P-69	AChR-Fc融合蛋白による治療がMG動物モデルのサイトカイン動態に与える変化	小澤 由希子	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
	※	P-70	The role of high mobility group box 1 in the pathogenesis of myasthenia gravis	Maimaitiming Bibinu	千葉大学医学薬学府 脳神経内科
	※	P-71	重症筋無力症における新規疾患活動性バイオマーカー: 血清可溶性ウロキナーゼ受容体 (suPAR) 濃度	鶴沢 顕之	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
17. 重症筋無力症 2(臨床)	※	P-72	重症筋無力症に対して自己免疫性甲状腺疾患が与える臨床的影響	渡辺 源也	国立病院機構仙台医療センター 脳神経内科
	無	P-73	亜急性発症で球・呼吸筋麻痺に至る重症筋無力症患者の臨床的特徴	大西 庸介	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
	※	P-74	重症筋無力症において治療後早期の抗アセチルコリン受容体抗体価減少率は1年後の予後と関連する	小島 雄太	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
	※	P-75	Late-onset MGにおける治療戦略の検討: 後方視的研究	菅谷 涼	国立病院機構仙台医療センター 脳神経内科 / 丸森町国民健康保険丸森病院 内科
	※	P-76	当院のLRP4抗体陽性MGにおける治療効果の検討	伊崎 祥子	埼玉医科大学総合医療センター 神経内科
	※	P-77	経過中に筋萎縮性側索硬化症 (ALS) を合併した重症筋無力症 (MG) の1例	南 尚哉	北海道医療センター 脳神経内科
18. 筋炎・筋膜炎	※	P-78	筋膜主体に炎症性変化を認めた抗Tif1-γ抗体陽性皮膚筋炎3症例の臨床病理学的特徴	荒川 晶	東京大学医学部附属病院 脳神経内科
	※	P-79	顕微鏡的多発血管炎に封入体筋炎を合併した一例	山田 紗依子	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 膠原病科 / 東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ内科
	※	P-80	異なる治療反応性を示した免疫チェックポイント阻害薬誘発筋炎の2症例	原 敦	神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学
19. HTLV-1関連ミロパチー	※	P-81	HTLV-1関連脊髄症における疾患特異的TCRレパトアの同定	野妻 智嗣	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経内科・老年病学
	無	P-82	HAM患者に対するL-アルギニン内服治療の試み	松浦 英治	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経内科・老年病学分野
20. 全身性自己免疫疾患・膠原病・その他 1	※	P-83	パーキンソン症状、一過性脳虚血発作症状を呈した神経サルコイドーシスの一例	伊佐早 健司	聖マリアンナ医科大学 内科学脳神経内科
	※	P-84	Sarcoid neuropathy with conduction block showing nerve fascicle compression by granuloma formation	Takashi Miwa	Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate School of Medical Sciences / Department of Neurology, Osaka University Graduate School of Medicine
	無	P-85	亜急性進行性の両側視力低下を呈しIgG4関連疾患による肥厚性硬膜炎が疑われた1例	石井 淳子	神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科
	※	P-86	肥厚性硬膜炎10例の長期経過	植田 晃広	藤田医科大学病院 脳神経内科
21. 全身性自己免疫疾患・膠原病・その他 2	※	P-87	髄液可溶性インターロイキン2受容体は免疫性・感染性・脱髄性疾患でも上昇する	島 さゆり	藤田医科大学医学部 脳神経内科学
	※	P-88	Sjogren症候群と抗GAD抗体を有し免疫グロブリン療法著効のopsoclonus-mycoclonus-ataxia syndromeの一例	清水 愛	金沢大学大学院 脳老化・神経病態学 (脳神経内科学)
	※	P-89	嫉妬妄想などの精神症状から始まった橋本脳症の1例	今井 健	川崎市立多摩病院 神経内科
	※	P-90	aPS/PT抗体単独陽性の血管炎性ニューロパチーを呈した一例	飯島 正博	名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部